

臨床検査技師を目指せる大学・養成校（主に東日本）には、以下があります。

○国公立大学

北海道大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
弘前大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
東北大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
筑波大学 医学群 医療科学類
信州大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
金沢大学 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻
新潟大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
東京医科歯科大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
群馬大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
埼玉県立大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻

○私立大学

つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科
北陸大学 医療保健学部 医療技術学科
新潟医療福祉大学 医療保健学部 臨床技術学科
群馬パース大学 医療保健学部 検査技術学科
埼玉医科大学 医療保健学部 臨床検査学科
女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科 栄養科学専攻
東邦大学 理学部 化学科 臨床検査技師課程
桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科
麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術科
大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科
帝京短期大学 ライフケア学科 臨床検査専攻 臨床検査コース
文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
千葉科学大学 危機管理学部 保健医療学科
国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科

○専門学校

吉田学園医療歯科専門学校
栃木県立衛生福祉大学校
国際医療専門学校
西武学園医学技術専門学校

昭和医療技術専門学校

東京電子専門学校

東洋公衆衛生学院

東京医学技術専門学校

【臨床検査技師に向いている人】

臨床検査技師は、血液や尿などを検査する検体検査や、心電図や脳波など患者を直接検査する生体検査など様々な業務を行っています。

経験を積みば上達していきませんが、適性のある人の方が上達するスピードはより速いと思われます。

では、臨床検査技師はどのような人に向いているのか、紹介します。

○手先が器用な人

臨床検査技師の業務は機械化が進んでいるとはいえ、まだ人の手を使って行う検査がたくさんあります。

例えば、血液標本や病理標本の作製、検査で使用するピペットの操作などはとても細かい作業が多いと思います。血液や髄液などの検体は限られた量しかないので、失敗することはできません。

また、臨床検査技師の業務には採血も含まれ、細い血管にピンポイントで針を刺す必要があります。

もちろん経験を積むことで上達はしますが、やはり手先の器用な人の方が向いている作業です。

○黙々と作業をするのが得意な人

検体検査室に配属されると、基本的に患者と接する場面は多くありません。

病理検査の担当者は1日中顕微鏡を覗き込んで仕事をする日もありますし、血液検査の担当者は機械相手に仕事をする日も少なくありません。

そのため、黙々と作業をするのが好きで、コミュニケーションを取らなくても苦にならない人に向いています。ただし、生理検査では患者に接しながら検査をするため、コミュニケーション能力は必須です。

臨床検査技師は様々な検査に携わるため、検査によって臨機応変に対応できることも必要です。

○探求心や向上心があり、学ぶことが好きな人

臨床検査の世界は日々進歩していて、新しい検査機器や検査方法が開発されています。

つまり、臨床検査技師は新しい手技をその都度学ぶ必要があるということです。

国家資格があるからもう勉強は必要ないという訳ではなく、むしろ就職してからの方が勉強しているという人も少なくありません。また、超音波検査士や細胞検査士など、臨床検査技師が目指す認定資格というものもあります。

このように、常に新しいことに挑戦したい、もっと学びたいという意欲がある人は、臨床検査技師に向いています。

【臨床検査技師の仕事内容】

臨床検査技師は、医師の指示のもと、病気の診断や治療に必要なデータを収集・分析し、適切な情報を提供する医療現場になくてはならない存在となっています。

主な仕事は大きく「検体検査」と「生理機能検査」の2つに分けられます。

＜検体検査＞

検体検査とは、患者さんの体から採取された血液、尿、便、細胞などの検体を詳しく調べる検査です。

具体的には、以下のような検査を行っています。

- 血液検査：貧血や感染症、生活習慣病などの診断。
- 尿・便検査：腎臓や泌尿器系、消化器系の異常。
- 生化学検査：肝臓や腎臓の機能、血糖値などを分析。
- 微生物検査：細菌やウイルスの種類を特定し、感染症の診断や治療薬の選択に貢献。
- 病理・細胞検査：組織や細胞を顕微鏡で観察し、がん細胞の有無などを確認。

検体検査では、検査機器を操作したり、顕微鏡で細胞を観察したりして、医師の診療に必要なデータを提供します。また、日々の精度管理や検査機器のメンテナンスも大切な仕事になります。

＜生理機能検査＞

生理機能検査（生体検査とも呼ばれます）は、患者さんの体に医療機器を直接当てて、体の機能や状態を調べる検査です。患者さんと直接接する機会が多く、コミュニケーション能力も求められます。

- 心電図検査：不整脈や心筋梗塞など、心臓の異常。
- 脳波検査：てんかんや脳腫瘍など、脳の活動を評価。
- 超音波検査（エコー検査）：内臓の腫瘍や胆石など、体内の様子を画像で確認。
- 肺機能検査：喘息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）など、呼吸器の機能を評価。

これらの検査は、臨床検査技師の知識や技術によって結果が左右されやすいため、経験を積んでスキルアップしていくことが重要。場合によっては、検査のための採血を行うこともあります。

【臨床検査技師の主な就職先】

- 病院：大学病院や総合病院
- クリニック（一般診療所）
- 検査センター（衛生検査所）
- 健診センター
- 保健所
- 治験関連機関（CRO・SMO）：医薬品開発業務受託機関（CRO）や治験施設支援機関（SMO）で、治験コーディネーター（CRC）や臨床開発モニター（CRA）
- 医療機器メーカー・製薬会社
- 大学研究室・研究所

※参考資料：臨床検査技師の求人・転職支援サービスの臨床検査 JOB より抜粋